

■米国：テキサス州、最大 500 万 kW の電力貯蔵設備導入で純便益の見込み

米国コンサルティング会社の Brattle 社は 2014 年 11 月 10 日、テキサス州における電力貯蔵に関する報告書を公表した。同報告書はテキサス州の送配電会社 Oncor Electric Delivery 社の委託によって作成されたもので、(1) 小売需要家、(2) 卸電力市場の参加者、(3) 社会全体の観点から、系統に接続された電力貯蔵設備導入の費用対効果が試算されている。Brattle 社の調査によると、将来的に電力貯蔵の設備費用が 350 ドル/kWh まで下がると見込んだ際、テキサス州 ERCOT 管内に 300～500 万 kW の設備を導入する場合は最も費用対効果が高いという予測がされている。